

## 特許庁からのお知らせ

# 1. 意匠審査基準の一部を改訂しました ～新規性喪失の例外規定の適用手続の要件緩和 及び 画像意匠として保護可能な範囲の明確化について～

特許庁 審査第一部 意匠課

## 1. 意匠審査基準の改訂の経緯

特許庁は、令和5年12月に意匠審査基準の一部を改訂しました\*1。

今般の改訂にあたり令和5年8月及び令和5年9月に産業構造審議会知的財産分科会意匠制度小委員会意匠審査基準ワーキンググループを開催して、内容を検討して参りました。令和5年10月から11月にかけて意見募集を実施し、ユーザーの皆様から貴重なご意見、ご指摘を頂戴しました。この場をお借りしまして、皆様のご協力に感謝申し上げます。

この改訂意匠審査基準は、令和6年1月1日以降に出願された意匠登録出願に適用しています。

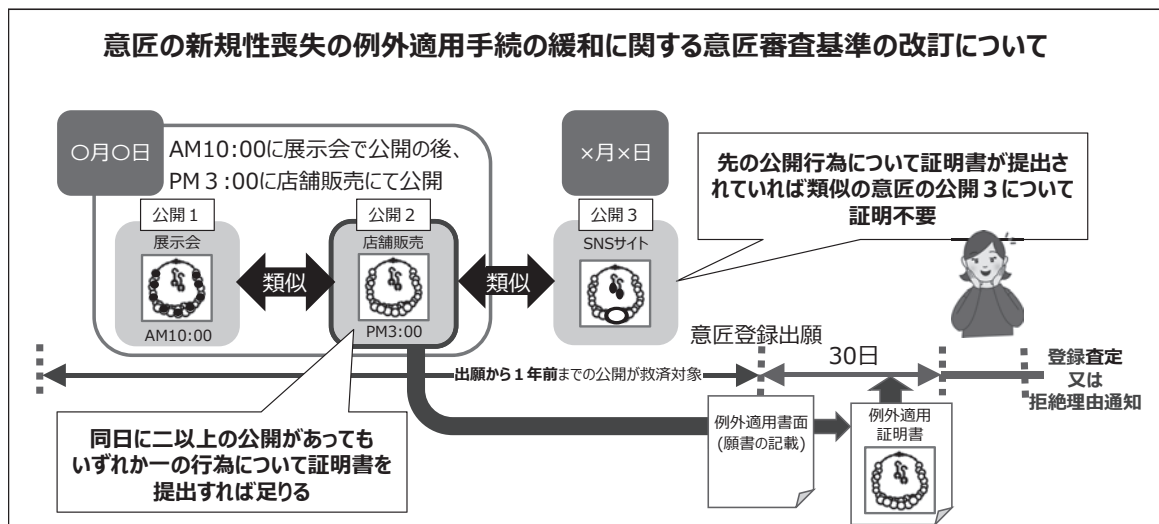
## 2. 改訂の具体的な内容について

### (1) 意匠の新規性喪失の例外適用手続の緩和に関する意匠審査基準の改訂について

令和5年6月14日に公布された「不正競争防止法等の一部を改正する法律」により、意匠の新規性喪失の例外規定の適用を受けるための手続が緩和されました。本改正法の施行日(令和6年1月1日)以後の出願については、意匠登録を受ける権利を有する者(権利の承継人も含む)の行為に起因して公開された意匠(以下、「公開意匠」という)について、最先の公開の日のいずれかの公開行為について証明することで、その日以後に公開した同一又は類似の公開意匠についても新規性喪失の例外規定の適用が受けられるようになりました。

これに伴い、意匠の新規性喪失の例外規定の適用を受ける際の手続全般にわたって、よくお寄せいただく質問をとりまとめた「意匠の新規性喪失の例外規定(意匠法第4条第2項)についてのQ&A集」についても改訂し、公表しました\*2。

また、特許庁のYouTubeチャンネルで公開中の意匠の新規性喪失の例外規定についての解説動画シリーズにおいても、改正法に関する動画を公開しています\*3。



## (2) 画像意匠に関する意匠審査基準の改訂について

今般の改訂では、仮想空間において用いられる画像の存在を前提として、意匠法の保護の及ぶ範囲に誤解が生じないように、第IV部第1章「画像を含む意匠」の改訂も行いました。

具体的には、意匠法上の「画像」について、意匠審査基準に次の2点を明記しました。

- ・意匠法第2条第1項でいう「機器」には、例えば電化製品の3Dオブジェクト等のような仮想的なものは該当しない。
- ・単に画像を表示する機能のみによって表示された画像は「表示画像」に該当しない。

また、意匠審査基準の改訂に加え、今後ユーザー向けに、仮想空間において用いられる画像の意匠登録出願を行う際にも活用できるガイドブックを作成し、特許庁ホームページに掲載する予定です。

### \* 1 意匠審査基準

[https://www.jpo.go.jp/system/laws/rule/guideline/design/shinsa\\_kijun/index.html](https://www.jpo.go.jp/system/laws/rule/guideline/design/shinsa_kijun/index.html)



### \* 2 意匠の新規性喪失の例外規定(意匠法第4条第2項) についてのQ&A集

<https://www.jpo.go.jp/system/design/shutugan/tetuzuki/ishou-reigai-tetsuduki/document/index/ishou-reigai-qa24.pdf>



### \* 3

【特許庁】意匠犬と学ぼう！出願前にデザインを公開した場合の手続(新規性喪失の例外)〔意匠〕  
<https://www.youtube.com/watch?v=WcPOWnEm9mM>



【特許庁】意匠犬と学ぼう！第2弾！応用編 出願前にデザインを公開した場合の手続(新規性喪失の例外)〔意匠〕

<https://www.youtube.com/watch?v=w4xqQHJpsOQ&t=0s>



【特許庁】意匠犬と学ぼう！第3弾！法改正編 出願前にデザインを公開した場合の手続(新規性喪失の例外)〔意匠〕

<https://www.youtube.com/watch?v=lmx8zn3SrUE&t=578s>



## 2. 海外の意匠制度ユーザーに向けたガイドブック

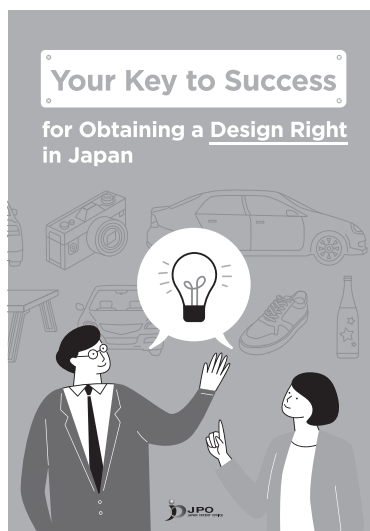
### Your Key to Success : for Obtaining a Design Right in Japanを 発行しました

特許庁 審査第一部 意匠課

#### 1. 概要

令和6年1月、特許庁は、海外の意匠制度ユーザーに向けて、英語のガイドブック *Your Key to Success : for Obtaining a Design Right in Japan* を発行しました。

本ガイドは、自国の意匠制度は理解しているものの、日本の意匠制度にはあまり詳しくない海外ユーザーに向けたものです。日本の意匠制度の特徴や近年の法令改正、日本の意匠出願手続において海外ユーザーが特に間違えやすいポイントについて、実際の登録事例や仮想事例を交えながら簡潔に解説しています。




## ●ガイドブックの紙面

[For More Details...](#)


### Designs which can be registered in Japan

Is the design in the application within the scope of the definition of a "design" under the Design Act in Japan?


**Article** A tangible object which is a movable distributed in the market.



Registration No. 1690992  
[ Chair ]



Registration No. 1337264  
[ Front bumper for automobiles ]

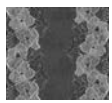
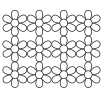


Registration No. 1703941  
[ Connector ]

Parts (including internal parts that are not visible from outside) can also be registered.

CAUTION !

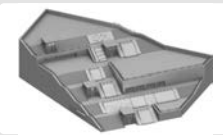
A "Fabric" containing a pattern is an article. However, a "Pattern," which can be applied to any articles, a building, or a graphic image. Therefore, it is not within the scope of protection under the Design Act in Japan.

Registration No. 1695433  
[ Narrow width lace ]


[ Pattern ]

**Building** An artificial structure (including a civil engineering structure) fixed on land




Registration No. 1671773  
[ Building for commerce ]

**Interior** An interior of a store, office, or other facility, consisting of multiple articles, etc.




Registration No. 1671852  
[ Interior of bookstore ]

**Graphic Image** A graphic image used for the operation of the device or displayed as a result of the device performing its functions can be protected.



Registration No. 1695484  
[ Graphic image for information displays ]



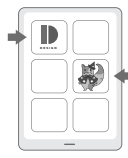
Registration No. 1675446  
[ Electronic calculator with rope tension measuring function ]

A graphic image can also be protected as part of an article



CAUTION !

Logos and Mascot characters themselves can't be protected. Icons for launching software that represent a company's logo or mascot character can be protected.

Within the scope of a "design"



Out of the scope of a "design"

[ Logo ] [ Mascot character ]

UPDATE ! April 2020

For a long time, the Design Act in Japan only protected designs for "articles," but it is now possible to register designs for graphic images, buildings, and interior as well.

より詳細な内容や関連情報については、各ページに記載された二次元コードから簡単にアクセスすることが可能です。

国内の知財関係者の皆様にも、海外のクライアントに日本の意匠制度を説明するような機会がありましたら、是非本ガイドをご紹介・ご活用いただけますと幸いです。

## 2. ガイドブックの入手方法

電子版(PDF) は以下よりダウンロード可能です。また、冊子版をご希望の場合は、送付先と希望部数を意匠課企画調査班(PA1530@jpo.go.jp) までご連絡ください。

[https://www.jpo.go.jp/resources/report/sonota-info/document/panhu/design\\_right\\_injapan.pdf](https://www.jpo.go.jp/resources/report/sonota-info/document/panhu/design_right_injapan.pdf)



## INDEX

### ■INTRODUCTION

- Overview of Design System in Japan
- Difference between Direct Filing and Filing under the Hague System

### ■CHECKLIST

- Designs which can be registered in Japan
- To avoid a refusal on lack of clarity
- Related Designs
- Filing an application for each Design
- Priority claim under the Paris Convention
- Exceptions to Lack of Novelty
- (Reference) Remedial Procedures